

食・農業・農村を取り巻く情勢

世界	地球温暖化の進行 気候変動による影響 SDGsの進展	激動する国際情勢 世界の食料需給の変動	世界人口の増加
国内	自然災害の 激甚化・頻発化 野生鳥獣被害の 深刻化 環境負荷低減活動の 拡大	物価の高騰 飼料・資材価格の 高止まり 農畜産物の 価格変動	国内人口の減少・高齢化 国内市場の縮小 農業従事者の 減少・高齢化 食の外部化 アグリテックの普及拡大 消費形態の変化 大規模農業法人の増加 地域社会の維持

国の動き (食料・農業・農村基本法の改正)

【主な改正のポイント】

- 国民一人一人の「食料安全保障」を基本理念の中心に
- 「環境と調和のとれた食料システム」を新たな基本理念に
- 人口減少下における農業生産の方向性と農村の地域コミュニティの維持を明確化

みやぎ食と農の県民条例の改正 (令和7年3月)

【主な改正のポイント】

- 条例前文
気候変動や自然災害、国際情勢の影響、食料生産体制の確保、農村が果たす防災の役割を追記
- 基本理念
食、農業、農村の振興に関する基本理念を明記
- 主要目標
農業、農村のほか、食の振興に関する主要目標を追加
- 基本的施策
総合的な振興、地域防災機能強化、野生鳥獣被害防止を追加
環境との調和に配慮した農業の推進を明記 (これまでの取組を強化)

主な見直しの視点

市場ニーズ
の変化への
対応

人材の確保
・育成と経
営基盤強化

先進技術の
導入による
生産性向上

環境への配慮
と持続可能な
生産

農村の維持
・活性化

農村の
防災力強化